

授業科目名(英文名)	環境情報科学特論B (Environmental Information Science B)
担当者名	坂井 美穂
学年	1
教科書	講義時にプリント配布
目的または到達目標	本講義では、環境白書／循環型社会白書／生物多様性白書を用い、環境情報を切り口に環境問題の各領域における問題発見および解決手法について習熟することを目的とする。環境問題を理解するには、環境問題全般への関心が必要不可欠であるため、日々の環境問題に関するニュースについても解説を行う。 環境情報科学特論 A では環境問題と公害問題について講義を行う。
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回・第2回 環境と共生するために必要なこと 現在起こっている多くの地球規模の環境問題の受け止め方やバランスのとれた共生関係の築き方について考察を行う。 ・第3～6回 環境分析について(大気・土壌・水) 大気・土壌・水の環境が現在どのようになっているのか、分析手法を説明し、そのデータの評価について解説を行う。 ・第7回・第8回 生物多様性について 生物多様性白書を用い、生物多様性が必要な意義について解説を行うとともに、評価方法等についても解説を行う。 ・第9回・第10回 持続可能な社会に向けて 循環型社会白書を用い、持続可能な社会に向けての取り組みについて解説を行う。 ・第11回～第14回 環境倫理について 環境問題に対し、4回の講義を通し、我々の環境に対する行動について、倫理学の観点から考察を行う。 ・第15回 総合レポート 第1回～第14回までの講義やディスカッションを踏まえた総合レポートを課す。
関連科目	環境情報科学特論 A
受講心得	日常から環境問題や情報の取り扱いについて興味を持つようになしてください。
課題・質問等の受付方法	随時受付 メール(sakaimh@nbu.ac.jp)でも可
授業の形式	講義形式(演習あり)
履修上の注意または履修条件	とくにありませんが、環境情報科学特論 A を受講していることが望ましい。
成績評価の方法	出席および課題提出にて評価します。
参考文献及び指定図書	講義時に提示します。